

GA330

表象文化演習－比較文化・比較演劇－

春学期担当：竹内 晶子，秋学期担当：西田 桐子

配当年次／単位：3～4 年／4 単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較文化・比較演劇

「演劇と越境」がテーマ。言語、文化、国籍、ジャンル、性別など、さまざまな「境」を演劇がどう乗り越えていき、新しい作品を作り出していくのかを、具体的な作品鑑賞と分析を通じて考えていきます。キーワード：オリエンタリズム、翻案、異性装、ジェンダー、レイス、エスニシティ、映画、アニメ、ミュージカル、能、歌舞伎、宝塚

【到達目標】

- ・小説、漫画、ミュージカル、映画、アニメ、舞台劇、テレビドラマ、古典演劇、バレエなど、異なるジャンルの作品間の比較文化的な分析ができるようになる。
- ・オリエンタリズム、ジェンダー、演劇論といった理論を応用した作品分析ができるようになる。
- ・日本の演劇（能・歌舞伎・宝塚）の舞台上の特性について、基本的な知識を身につける。
- ・先行研究をふまえ、細密なテキスト分析にもとづいた、客観的かつ説得力をもった論文を書くことができるようになる。

【授業の進め方と方法】

春学期は日本を代表する特異な演劇ジャンルである、能・歌舞伎・宝塚をとりあげます。それぞれのジャンルの舞台上の特性を学ぶと共に、基本的な演劇理論を応用しながら西洋演劇との比較を行います。演劇における異性装（男装・女装）の問題、舞台と観客の関係、演劇における「非リアリズム」の問題などを、作品分析と実際の舞台鑑賞と組み合わせながら考察し、こうして学んだ演劇の可能性や理論を応用して、新たな演劇作品を自作します。

秋学期は主に映画『美女と野獣』、『サヨナラ』、『キクとイサム』を例にジェンダー、オリエンタリズム、レイス／エスニシティの理論を学びます。作品鑑賞とテキストの詳細な読みを組み合わせ、理論の応用を身を以て学んでいきます。

また授業以外でも、上記の様々なジャンルの舞台に足を運ぶ予定。両学期ともに、学生には各自研究発表を課します。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
第一回	イントロダクション	授業説明 演劇論概要
第二回	物語と映画と演劇の違い1	映画鑑賞
第三回	物語と映画と演劇の違い2	映画分析
第四回	物語と映画と演劇の違い3	創作演劇
第五回	能楽	能の歴史、構造、西洋演劇との比較
第六回	能の応用	創作能
第七回	歌舞伎	歌舞伎の歴史、構造、西洋演劇との比較
第八回	歌舞伎の応用	創作歌舞伎
第九回	宝塚	宝塚の歴史、構造、西洋演劇との比較
第十回	宝塚の応用	創作宝塚
第十一回	学生発表 I	四年次生中間発表①
第十二回	学生発表 II	四年次生中間発表②
第十三回	学生発表 III	四年次生中間発表③

第十四回	学生発表 IV	三年次生研究発表①
第十五回	学生発表 V	三年次生研究発表②
秋学期		
回	テーマ	内容
第十六回	イントロダクション	授業紹介、映画鑑賞
第十七回	『眠れる森の美女』 I	映画鑑賞、ジェンダー理論概説、分析
第十八回	『サヨナラ』 I	映画鑑賞、オリエンタリズム概説
第十九回	『サヨナラ』 II	映画鑑賞
第二十回	『サヨナラ』 III	映画分析
第二十回	『キクとイサム』 I 一回	映画鑑賞
第二十回	『キクとイサム』 II 二回	映画鑑賞、レイス／エスニシティ概説
第二十回	『キクとイサム』 III 三回	映画分析
第二十回	学生発表 I	四年次生研究発表①
第二十回	学生発表 II	四年次生研究発表②
第二十回	学生発表 III	四年次生研究発表③
第二十回	学生発表 IV	三年次生研究発表①
第二十回	学生発表 V	三年次生研究発表②
第二十回	学生発表 VI	三年次生研究発表③
第三十回	まとめ	レポートフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・課題テキストを読み、発表準備をすること。
- ・期末論文の調査・執筆・書き直し。

【テキスト（教科書）】

適宜配布プリントを使用します。教科書は用いません。（予定）

【参考書】

- ・エドワード・W・サイード『オリエンタリズム』平凡社、1992 年。
- ・若桑みどり『お姫様とジェンダー アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』（ちくま新書）筑摩書房、2003 年。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点 30 パーセント
- ・課題提出 20 パーセント
- ・発表 20 パーセント
- ・期末論文 30 パーセント

【学生の意見等からの気づき】

実際の観劇と視聴覚教材を多用し、できるだけ多くの演劇ジャンルを取り上げたいと考えています。

【その他の重要事項】

その時々で上演される作品を出来るだけ授業内容に取り入れたいので、授業予定は変更する可能性があります。担当教員の竹内が秋学期から国外研究のため、秋学期以降は西田桐子先生に担当いただきます。

管理 ID：1705236
授業コード：C1112